



佳作（株式会社フジ賞）

海底の新海魚

リピコ

紙 アクリル絵具

作品について

この作品は、初めてアクリル絵の具で描いた物です。思い付きでやると不思議な形になって続けていくと、魚のような作品になりました。

講評

リピコさんの「海底の新海魚」はアクリル絵の具の速乾性や油彩画のようなテクスチャー（質感）などの特性をうまく活用して表現に繋げています。作品からは、初めて使うアクリル絵の具へのワクワク感と共に、ライブ感覚で縦横無尽に画面を色とかたちで満たしていく作者の高揚した息遣いが迫体験できるようで、自由で心地良い印象を受けます。また、額装の余白に用いた白も、結果として画面の白地と呼応して伸びやかな広がりを感じます。さらに作品タイトルを、「深海魚」ではなく「新海魚」にしている点も、作者のひねりが効いていて、作品をより楽しいものになっています。（原田 義明）